

Fujizack 通信③



フジザック通信は、ふじざくら支援学校から保護者の皆様に情報提供する不定期通信です。 【第3号】 令和2年7月28日 文責：校長

私は、本校の先生方の顔を見たことがありません……。

と言うのは、どの先生も4月以降、校内では常時マスクを着用しているため、顔の全貌がわからないのです。先生方とは毎日接しているのですが、顔の上半分しか見ることができないため、私は先生方の顔の下半分を勝手に想像して顔全体をイメージ化しています。先日、一人の先生がマスクを外す場面に遭遇しました。そこには、私が思い描いていたイメージとは全く違った顔が現れ、ひどく驚いたことがありました。

顔に限らず、人の一部だけを見て全体像を思い込んでしまうことの曖昧さに気付かされました。

夏休みを前に、今回は【**新しい生活様式**】について情報を提供します。

新型コロナウイルス感染症については、大都市圏を中心に相変わらず感染が見られています。夜の繁華街での感染や劇場でのクラスター感染など、もしかしたら防ぐことができたのではないかと残念に思います。感染予防のために窮屈な学校生活を強いられている子どもたちを前にして、私たち大人がしっかりと責任ある行動をとらなくてはならないと、最近のニュースから強く感じているところです。

さて、厚生労働省から出されている【**新しい生活様式**】の実践例を、裏面に印刷しました。これは、自分自身や大切な家族、そして居住する地域を感染から守るための行動様式の例です。このような生活をしていれば、決して感染しないと言うものではありませんが、私たちが日常的にできる感染予防対策が示されていますので、家庭生活においても参考にしてください。

Social Distance!



私たち教員も、毎朝の検温や指導場面でのマスク等の着用、教室や学習が変わるたびに行う手洗いや消毒など、学校現場での新しい生活様式が身に付いてきました。その一方で、常時マスクを着用しているために顔の表情で子どもたちと感情を共有することができないことや、密接を避けるために全身でのスキンシップやコミュニケーションがとれないことなど、教育上のもどかしさを痛感しているところです。次の新しい生活様式に、一日でも早く移行するには、今は感染防止対策を徹底するしかないと考えています。



さて、これから夏休みになります。観光地として全国的に有名なこの地域です。そして、比較的感染状況が落ち着いているこの地域です。さらに、「GoTo トラベル」が展開されています。期間中に、他県から大勢の観光客がこの地域を訪れることが想定され、不安を感じています。この夏休みに、子どもたち、そして家族の皆様が感染に巻き込まれないよう十分に注意してください。

8月19日の始業式に、元気いっぱいの輝く笑顔で103人全員が登校してくるのを待っています。

小学部の廊下には、造形作品の「風鈴」や「うちわ」が風に揺れています。中学部には、各県の特産物などが書き込まれた「日本地図」が。そして、高等部には、人の体のつくりや働きを学習した「人体図」などが掲示されています。4・5月とは大きく違い、再開したふじざくら支援学校の躍動を感じています。

2学期になっても、引き続き子どもたちの学びが計画どおり実施されることを願う令和2年の夏です……。

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
 - 家に帰ったらまず手や顔を洗う。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔をもしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成